

宮崎地区学校体育連盟 研究発表

発表者 宮崎市立大宮小学校
教諭 緒方 和大
発表補助者 宮崎市立檜北小学校
教諭 若松 壮丞

研究主題

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方

副題

主体的・対話的で深い学びの視点に
立った授業の創造と展開

本地区の課題(必要性)

主題設定の理由

- 運動する子とそうでない子の二極化
- 体づくり運動の考え方や授業に不安を感じている教員が多く存在
- 保健指導の充実
- 新指導要領に基づく、学習指導計画(単元計画)の充実を図る必要性

研究目標

児童一人一人が、運動や健康に関する課題を発見し、その解決に向けて活動することができる主体的・対話的な学習指導過程の工夫・改善について追究する。

研究仮説

運動や健康に関する課題を見つけ、その課題に向けて運動の楽しさや喜びを味わいながら主体的に運動に取り組んだり、理解した学習内容を基に効果的に仲間と対話的な学習に取り組んだりすることで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てることができるであろう。

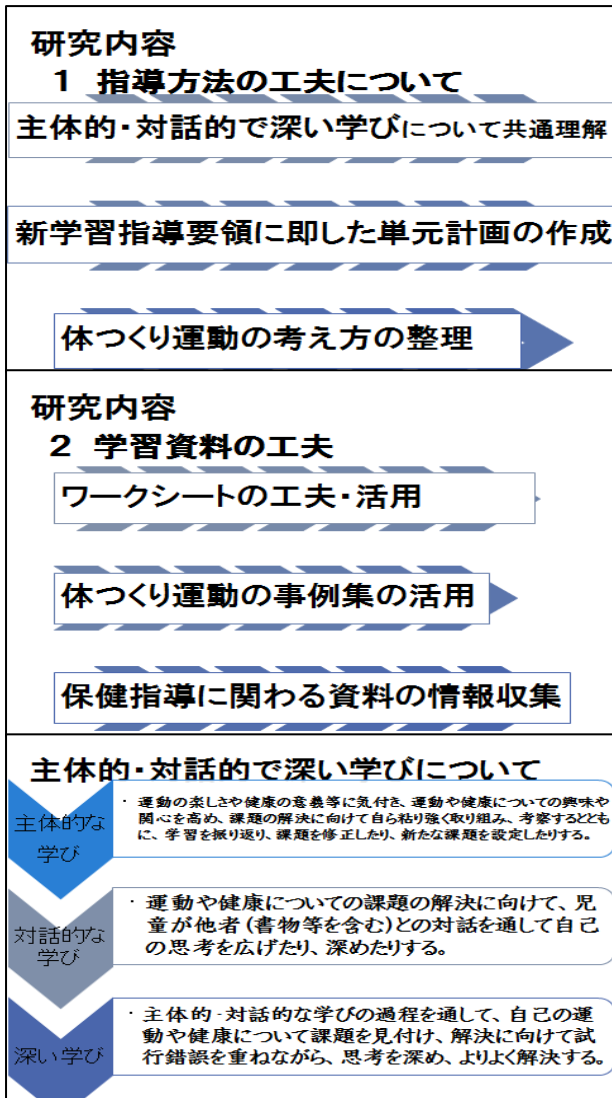
宮崎地区の研究発表。

研究主題を生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方とし、副題を主体的・対話的で深い学びに立った授業の創造と展開とした。

主題設定の理由は、運動をする子とそうでない子の二極化、体づくり運動の授業に対する教師側の不安、保健指導の充実、新指導要領に基づく学習指導計画の作成の必要性などが挙げられる。

研究内容は、「児童一人一人が、運動や健康に関する課題を発見し、その解決に向けて活動することができる主体的・対話的な学習指導過程の工夫・改善について追究する」とした。

これらより、研究仮説を「運動や健康に関する課題を見つけ、その課題に向けて運動の楽しさや喜びを味わいながら主体的に運動に取り組んだり、理解した学習内容を基に効果的に仲間と対話的な学習に取り組んだりすることで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てることができるであろう。」とした。



具体的な研究内容は、
 指導方法の工夫として
 主体的・対話的で深い学びについての共通理解
 新学習指導要領に即した単元計画の作成
 体づくり運動の考え方の整理
 の3点

学習資料の工夫として
 ワークシートの工夫・活用
 体づくり運動の事例集の活用
 保健指導に関わる資料の情報収集
 の3点とした。

学習指導要領より、主体的な学びは

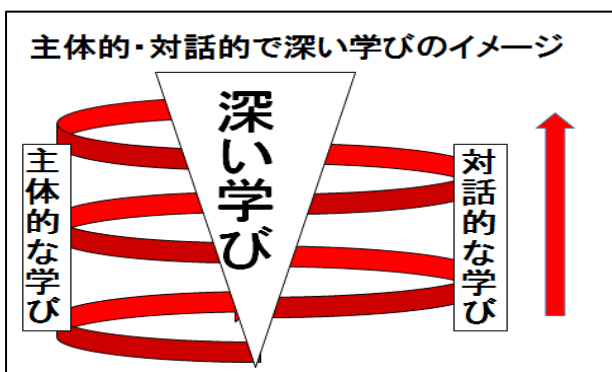
「運動の楽しさや健康の意義等に気付き、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組み、考察するとともに、学習を振り返り、課題を修正したり、新たな課題を設定したりする。」

対話的な学びは

「運動や健康についての課題の解決に向けて、児童が他者（書物等を含む）との対話を通して自己の思考を広げたり、深めたりする。」

深い学びは

「主体的・対話的な学びの過程を通して、自己の運動や健康について課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決する」と共通理解を行った。



イメージ図を作成した。主体的・対話的な学びをスパイラル的に行っていくことで、時間の経過とともに、深い学びにつながっていくのではないかと考えた。

**新学習指導要領に即した
単元計画の作成**

学習内容が2学年ずつで表記されている体育科では、担任の判断によって学習する内容や運動に違いがあった

↓

平成29年度より、2カ年をかけて全学年・全領域の単元指導計画の作成を目指した

↓

地区小体連が作成した単元計画を地区内小学校に配付

↓

授業計画の参考にしてもらうことで、市内小学生の体力向上にもつながる

体づくり運動の考え方の整理

体づくり運動の授業を行う教師の不安や疑問

↓

○ 3・4年生と、5・6年生の体づくりの違いは？
○ 同じ目標の5・6年生では、同じ学習でいいのか？
○ それぞれの学年でどのような違いがあるのか？

↓

学習内容や指導方法の考え方について整理する必要がある

**体づくり運動の考え方の整理
【運動】**

小学校	中学校
具体的に取り上げる運動例はある程度の共通性のある教材を用いる中で、個の違いに配慮しつつ運動する心地よさや楽しさに配慮する。	運動に対する目的や個人のねらいが次第に顕著になるため、生徒それぞれのねらいに応じていくつかの運動を組み合わせたり一定の時間、期間における運動の計画を立てたりすることに重点を置く。

**体づくり運動の考え方の整理
【知識、思考・判断】**

小学校全段階	
様々な動きの獲得に向けた挑戦の場を提供する中で、児童の自由な発想の広がりや称賛したり、動きを楽しむ体験をさせたりすることが中学校以降の科学的知見に基づき学習につながり、その基礎を培う。	
小学校低・中学年段階	小学校高学年段階
科学的な知見の獲得やその理解に基づく実践に主眼があるのではなく、まず運動の楽しさや心地よさを味わうことが重要であり、そのための運動の行い方を工夫できるようにする力を育成することに重点を置く。	発達の段階及び中学校への接続を踏まえ、直接体力を高めることをねらいとした学習に移行する。その際、体力の要素に応じた効果的で正しい行い方を体験しておくことが大切。
中学校及び高等学校全段階	
「体づくり運動」の意義や体の構造、運動の原則などの知識を獲得し、それらの知識を活用したり、応用したりすることが求められる。	

体づくり運動の考え方の整理

小学校から高等学校の12年間の体育科教育では

小学校	小学校	中学校
1年生	5年生	3年生
2年生	6年生	高等学校
3年生	中学校	1年生
4年生	1年生	2年生
	2年生	3年生

4カ年ごとに内容が大きく分けられている。

このような点を踏まえ、宮崎市小学校体育連盟では、次のようなことに注意しながら「体づくり運動」の授業を構築していくよう、共通理解を図った。

単元計画の作成について。2カ年ごとに示してある学習指導要領について、全学年・全領域での単元指導計画の作成を目指した。今後、作成した単元計画を市内の小学校に配付し、活用してもらう。

体づくり運動の考え方の整理について。
3・4年生と、5・6年生の体づくりの違いは？
同じ目標の5・6年生では、同じ学習でいいのか？
それぞれの学年でどのような違いがあるのか？
などの疑問があり、学習内容や指導方法の考え方について整理する必要性があった。

小学校の体づくり運動の考え方として、小学校では、「具体的に取り上げる運動例はある程度の共通性のある教材を用いる中で、個の違いに配慮しつつ運動する心地よさや楽しさに配慮する。」中学校では、「運動に対する目的や個人のねらいが次第に顕著になるため、生徒それぞれのねらいに応じていくつかの運動を組み合わせたり一定の時間、期間における運動の計画を立てたりすることに重点を置く。」とされている。

小学校全段階で「児童の自由な発想の広がりや称賛したり、動きを楽しむ体験をさせたりする」ことが大切であり、低・中学年では「科学的な知見の獲得やその理解に基づく実践に主眼があるのではなく、まず運動の楽しさや心地よさを味わうことが重要であり、そのための運動の行い方を工夫できるようにする力を育成することに重点を置く」こと、高学年では「発達の段階及び中学校への接続を踏まえ、直接体力を高めることをねらいとした学習に移行する。その際、体力の要素に応じた効果的で正しい行い方を体験しておくことが大切」とされている。また、学習指導要領では高校卒業までの12年間で4年ごと区切りで大きく内容が分けられている。

体づくり運動の考え方の整理

- 小学校中学年と高学年で、運動の様相が同じであってもよい。
- 低・中学年では、運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わうことができるようにする。
- 高学年では、運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わうことができるようにするとともに、体力の要素について理解したり、自分の動きの高まりについて考える機会を設ける。また、運動を通して動きを高めようとするようにする。
- 5年生では「共通した運動での動きの高め方」について学習し、6年生では「グループや個人で選択した運動について動きを高める方法を工夫する」ことを学習する。

体づくり運動の考え方を次のように整理した。

- 小学校中学年と高学年で、運動の様相が同じであってもよい。
- 低・中学年では、運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わうことができるようにする。
- 高学年では、運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わうことができるようにするとともに、体力の要素について理解したり、自分の動きの高まりについて考える機会を設ける。また、運動を通して動きを高めようとするようにする。
- 5年生では「共通した運動での動きの高め方」について学習し、6年生では「グループや個人で選択した運動について動きを高める方法を工夫する」ことを学習する、と整理した。

学習資料の工夫【ワークシートの工夫】

体づくり運動の授業では、多くの場合、多様な運動を取り上げることになる

取り組む運動が違くと、意識することが変わる

同じ運動でも、取り組む人によって意識することが変わる



児童が、自分のワークシートから意識の変容に気付くことができるようにしたい

ワークシートの工夫について

体づくり運動の授業では、多くの場合、多様な運動を取り上げることになる。同じ運動でも、人によって感じ方が違ったり、取り組む運動が違くと意識することが変わったりする。そのため、児童が自分のワークシートから、どのようなことを意識して運動したか分かるようにしたいと考えた。

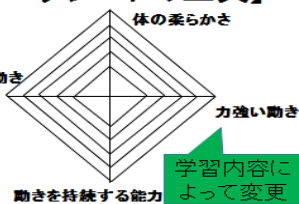
学習資料の工夫【ワークシートの工夫】

○ 体力の要素はそれぞれ独立したものではない

巧みな動き

○ 短時間で自分の動きについて振り返ることができる。

○ 視覚的に分かりやすい。

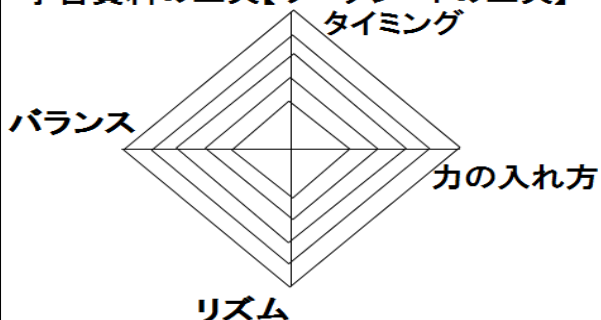


学習内容によって変更



レーダーチャートを作成

学習資料の工夫【ワークシートの工夫】



学習指導要領の高学年に示されている体力の要素は4つである。しかし、それぞれが独立しているものではなく、相互に関係していると考えた。また、短時間で視覚的に振り返ることができるように、レーダーチャートを作成した。学習内容によって、チャートの項目を変えながら使用した。

巧みな動きの学習を行う場合、このようなチャートの項目が考えられる。また、チャート以外にも自由記述欄を設けることで、児童の感想などから感じたことや考えたことがわかるようにした。児童が単元を通して振り返るだけでなく、教師も児童の思考・判断などを評価できると考えた。

<p>学習資料の工夫【運動事例集の活用】</p> <p>学校体育研究会が作成した「体づくり運動事例集」から小学校の授業に適した内容を抜粋</p> <p>↓</p> <p>運動の方法が写真で示してある 運動の際の、留意点が記載してある</p> <p>↓</p> <p>運動の方法を視覚的に捉えることができる 児童が理解しやすい</p>	<p>学習資料の工夫（運動事例集の活用について）</p> <p>学校体育研究会が作成した「体づくり運動事例集」から小学校授業に適した内容を授業者が抜粋。</p> <p>写真で運動の方法が示してあったり、留意点が記載してあったりするため、児童が視覚的に理解しやすいと考えた。</p>
<p>学習資料の工夫【保健指導に関する資料の情報収集】</p> <p>保健指導の充実を目指す上で、学習資料の充実も重要である。</p> <p>↓</p> <p>学校内にある資料以外にも、多くの資料に触れられる機会があった方が、保健授業の充実につなげることができる</p> <p>↓</p> <p>養護教諭部会に協力を依頼 2カ年をかけて、各学校の保健資料をまとめる</p>	<p>保健指導に関する情報収集</p> <p>養護教諭部会に協力を依頼し、2年間の期間で各校にある保健資料について市内すべての小学校から保健資料のデータを集めた。</p>
<p>学習資料の工夫【保健指導に関する資料の情報収集】</p> <p>学校名・資料名・対象学年・種別(写真・DVD・掲示資料)を記載</p> <p>↓</p> <p>宮崎市小学校体育連盟ホームページに載せる</p> <p>↓</p> <p>体育主任以外の先生方でも、近隣校の資料等が確認できるようにした。</p>	<p>資料名、対象学年、種別等の項目を記載したデータを集約し、宮崎市小体連のHP上に載せることで、多くの先生方の保健授業の充実を目指した。</p>
<p>研究の成果と課題</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主体的・対話的で深い学び」について整理し、それらを意図した学習指導過程を計画・実施することで、児童が意欲的に取り組む「体づくり運動」の授業を展開することができた。 ○ すべての学年・領域で単元計画を作成したことで、今後、学習の内容の見通しをもって指導にあたることができる。 ○ 系統性を意識して「体づくり運動」を指導することができた。 ○ レーダーチャートは、児童の考えや意識を把握することにもつながり、評価の際にも役立つことが多かった。 	<p>成果について</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学び」について整理し、それらを意図した学習指導過程を計画・実施することで、児童が意欲的に取り組む「体づくり運動」の授業を展開することができた。○すべての学年・領域で単元計画を作成したことで、今後、学習の内容の見通しをもって指導にあたることができる。</p> <p>○ 系統性を意識して「体づくり運動」を指導することができた。○レーダーチャートは、児童の考えや意識を把握することにもつながり、評価の際にも役立つことが多かった。</p>
<p>研究の成果と課題</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元計画では、評価項目を入れることができなかった。今後、評価規準等が公表されたときに学習内容とともに再考していく必要がある。 ○ 高学年の体づくり運動についての研究・実践を深めることができたが、低学年・中学年の研究・実践ができていない。今後、研究を深めていく必要がある。 	<p>課題について</p> <p>○単元計画では、評価項目を入れることができなかった。今後、評価規準等が公表されたときに学習内容とともに再考していく必要がある。○高学年の体づくり運動についての研究・実践を深めることができたが、低学年・中学年の研究・実践ができていない。今後、研究を深めていく必要がある。</p>